



第723号



岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会
 住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号
 電話／019(654)4411
 FAX／019(654)4420
 URL／<https://iwatemoriren.org>

令和四年度助成額は三、六五八万円

岩手県森林再生機構 第一回理事会開催される

令和五年度岩手県森林再生機構第一回理事会在、六月二十日午後一時半から、盛岡市のホテルロイヤル盛岡にて開催された。理事会には、理事・監事・オブザーバー等十四名が出席し、令和四年度事業報告及び収支決算、令和五年度事業計画及び収支予算等を承認・決定したあと、任期満了に伴う役員の変更を行い、全役員を再任した。また、助成金交付額を確保するため規程の一部(管理

費部分の協力手数料率)改正を行った。

開会に当たり、中崎和久理事長(県森連会長)は「国民の再造林に対する考え方も年々理解され再造林率も徐々にアップしてきている。当県においても森林所有者の理解の下、再造林が進んできているが、基金造成にあたり原木購入者の協力が若干落ち込むなど、助成する再造林予定者に十分に対応することができないという危惧がある。今後、様々な要請活動を通じて、更に再造林の在りかた、今後の方向がどうあるべきか、関係団体と協議しながらしっかりと対応しなければならぬ。」と挨拶した。

令和四年度は、岩手県森林再生基金事業協力者からの協力金徴収額が三、一九九万円(計画対比九八%)の実績となった。また、森林所有者への助成金交付額は、三、六五八万円(計画対比八九%)となり、令和三年度と比較し四四一万円減の実績となった。



植樹祭参加者による記念撮影

六年目を迎えた再生基金事業の助成金交付額は、県内の再造林面積の拡大と共に年々増額しているが、一

方で、令和五年度は昨年度後半から木製品・原木の需要と価格の落ち込み、合板工場等の減産の影響によって原木の取扱量が減少し、協力金徴収額の減額が予想される。また、一昨年から助成金交付額が協力金徴収額を上回ったため繰越金が減少し、結果として助成金交付額は大幅に減額になる見込みである。

当機構としては、今後より多くの申請者に対して基金制度を有効活用してもらうため、再生基金事業の趣旨に賛同する協力者を更に増やしていくとともに、助成金の交付条件の見直しも検討している。

また、同再生機構植樹祭を六月十七日午前十時半から、紫波町の再造林助成申請地において開催した。機構の構成八団体と来賓の県関係者、森林所有者など約五十人が参加した。植樹会場は、紫波町の東根山登山道入口沿いの伐採跡地。八人の個人所有林で、五十〜六十年生のスギを今年二〜三月に盛岡広域森林組合が伐採した。施業地面積は〇・九六ヘクタールで、植樹祭では〇・一ヘクタールに百八十本の二年生カラマツコンテナ苗を植栽した。

植樹祭は、同機構の「岩手県森林再生基金制度」の普及・啓発活動と再造林の促進を図ることなどを目的に、令和二年度から開催している。

原木需給状況等について協議 森林組合木材安定供給協議会開催

本年度一回目の岩手県森林組合木材安定供給協議会が七月六日開催され、県内の各主要工場の状況や今後の原木需給等について情報交換したほか、十月一日からスタートするインボイス制度の運用方針等について協議した。

この協議会は、県内における木材の生産及び需給に関する情報交換を行い、木材安定供給体制の構築を図って行くことを目的に、県内四ブロックの代表八森林組合と県森連を構成員として、毎年、必要に応じて数回開催している。協議会では、始めに令和五年度



協議会の様子

木材販売事業の進捗状況と各主要工場の状況について報告された。

全国的な住宅着工の激減により合板や集成材等の製品の動きが悪いことから、各工場とも在庫過多による生産調整が続いており、原木の生産・販売は先行き不透明な状況にある。秋田県の大規模工場が秋口から原木集荷に入ること等も踏まえ、今後の木材需給に関する情報交換を密に対応して行くこととした。

続いて十月一日からスタートするインボイス制度について、木材販売事業における制度の運用方針等について意見交換した。森林組合系統の販売方法は、大きく分けて共販と直販があり、それぞれ受託販売と買取販売方式がある。森林組合の仕入れ先の状況について事前調査した結果、全体の取引量の三十三%が免税事業者と多く、他産業に比べ複雑な取引形態であるため、県森連と森林組合との共通性を持ったインボイス運営方針を確立して行くためには課題も多く、引き続き検討して行くこととした。

第七十三回全国植樹祭いわた2023

岩手県森連の取組

「第七十三回全国植樹祭いわた2023」が六月四日、陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園で開催された。

今大会には、県内森林組合系統から協力員として百二十四名が参加した。

岩手県森連では、今大会の開催に際し、県行政や関係団体と連携して地域材のPR活動に努めた。

全国有数の森林県である岩手県ならではのアカマツやナラといった広葉樹を中心とした県産木材製品を多数納品した。

岩手県森連が今大会に納品した県産木材の詳細は以下の通り。

- ・ 木製ベンチ(スギ) 一、一六七台
- ・ 木製プランターカバー(スギ) 六五〇台
- ・ 取材台用手摺材(スギ) 三十一本
- ・ 代表者記念植樹標柱材(スギ) 五十九本
- ・ 司会台(アカマツ合板) 一台
- ・ お手植え箱(スギ) 一箱
- ・ 【農林中央金庫支援事業】
・ 演台(アカマツ) 一台

- ・ シンボル台(アカマツ) 一台
- ・ 【お野立所建築工事】
- ・ ルーバー材(スギ) 七五〇枚
- ・ 羽目板(アカマツ) 二六〇枚
- ・ 桤材(アカマツ) 一三〇本
- ・ 笠木(アカマツ) 十二枚
- ・ 巾木(アカマツ) 十本
- ・ 床板(ナラ) 約六十八平米
- ・ 側板(ナラ) 十三本
- ・ 見切材(ナラ) 二十本
- ・ 壁面化粧板(ナラ) 一二三本

岩手県政 150周年 記念 (R4~R8)



岩手県森林組合連合会 7月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級 (m)	径級 (cm)	標準価格 (1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	8,500	↓
	3.65	18~28	10,000	→
	3.65	30上	11,000	→
	3.65	40上	11,000	→
	3.00	16~26	10,000	↓
	2.00	18上	8,000	↓
アカマツ	4.00	18~22	9,000	↓
	4.00	24~28	9,000	↓
	4.00	30上	10,000	↓
	4.00	40上	10,000	↓
	3.00	18~28	9,000	↓
	3.00	30上	9,500	↓
	2.20	40上	9,000	↓
	2.00	18上	8,000	→
カラマツ	4.00	14下	12,000	→
	4.00	16~28	16,000	→
	4.00	30上	16,000	→

第五十一回全国林業後継者大会 いわて2023 つなげよう 豊かな森林(もり)を 次世代へ

第七十三回全国植樹祭いわて2023の関連行事として、六月三日午後一時より盛岡市民文化ホールにて県内外の林業関係者ら四七〇名が出席して開催された。

岩手県林業研究グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、盛岡市、岩手県が主催し、「つなげよう 豊かな森林(もり)を次世代へ」を大会スローガンに掲げ、岩手県の豊かな森林を次世代への継承と、担い手が果たす役割に関する発表と意見交換、大会

宣言にて森林・林業の重要性や魅力を発信した。

本大会には、釜石地方森林組合の高橋理事兼参事が活動発表とパネリストとして参加し、森林組合として環境的にも経済的にも対応できる木材生産と森林整備を行うことはもちろんのこと、地域産業や異業種ともパートナーシップにて地域課題に取り組み、地域に必要とされる組織となることの重要性を発信した。

ポスター発表として、岩手県森



林組合青年部連絡協議会が会員の森林組合青年部と共に、子ども食堂を運営する認定NPO法人インクルいわてと共催した「お山食堂」が紹介された。

大会会場入り口に設置された巨大な「もりおか森のリース」で来場者を迎えた。市内で伐採された杉の枝葉で形成し、松ぼっくりと赤松の経木で作成した花が飾り付けられている。製作には、盛岡広域森林組合青年部、盛岡市、ハートフルワークいわてが協力して行った。

岩手県森林組合職員連盟主催 第二回パークゴルフ大会結果 (六月二十七日開催)

▽団体賞

- 第一位 二戸支部 (三七七打)
- 第二位 岩手紫波支部(四〇五打)
- 第三位 気仙支部 (四二六打)

▽個人賞

- 第一位 下館光弘 (二戸支部、八四打)
- 第二位 佐藤俊介 (同、八八打)
- 第三位 杉本基成 (岩手紫波支部、九〇打)
- 佐藤 忠 (気仙支部、九〇打)

▽ホールインワン賞

- 木下 静恵 (気仙支部)
- 石輪孝太郎 (二戸支部)
- 泉山 貢 (同)

伐採跡

本誌二面にも掲載しております第七十三回全国植樹祭いわて2023につきまして、当日は天候にも恵まれ、大会が盛大に開催されましたことを岩手県民として嬉しく思います。暑い日々が続いております。こまめな水分補給を心がけ、熱中症には十分注意しましょう。(藤澤)

スギ荷動き悪く

県内センターの取扱量は累計で前年度比82%。単月では約2,837m³の販売減。県内合板工場の生産は一時的に回復したものの、引き続き様子を見ながら運転。在庫は飽和状態で翌月分まで確保出来ている。

スギは地域により荷動きに違いがあり、南の方が動きが鈍い。細材は引き合いはあるが良材が不足。大径材、目粗、節材等欠点材は弱い。役物用は引き合いあり。虫害シーズンとなっているため、製材所等はなるべく在庫を持たない方針となっている。

カラマツは、引合いが出てきた。合板材は強保合。小径木は、6~12cmが不足している。

アカマツはシーズンオフ。9月頃までは合板向けがメイン。

盛岡センターでは、広葉樹は干割れ、カビなどが入る時期のため、全体的に引き合い価格ともに落ち着いている。ナラ、クリ、サクラ、オニグルミ等高騰していた樹種の単価も落ち着いている。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (m³当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	6月22日	6月8日	6月29日	6月16日	6月6日	6月1日	6月21日	6月28日	開催せず	6月27日
スギ	2.00	18cm上	-	-	-	-	10,500	6,900	7,500	7,000	-	-
	3.00	16~26	-	10,500	10,000	-	11,500	9,200	11,000	-	-	11,000
	3.65	18~28	-	-	9,500	12,000	-	-	-	-	-	10,000
	3.65 4.00	30cm上	41,800 13,000	10,000	9,000	10,500	12,000	11,000	9,500	9,700	-	10,000
	4.00	10~16	8,500	7,300	9,000	7,800	9,800	8,200	9,000	-	-	7,200
落札数量	2,616 m ³		222	162	692	366	397	120	172	58	-	427
アカマツ	2.20	36cm上	-	-	-	-	-	-	8,000	8,000	-	-
	3.00	14~28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	18~28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	30cm上	-	-	-	-	-	-	8,000	-	-	-
落札数量	202 m ³		1	0	0	0	0	0	6	192	-	3
カラマツ	4.00	7~13	12,600	-	12,500	-	-	8,000	8,700	9,500	-	-
	4.00	14~28	19,000	16,000	19,500	-	-	20,600	20,000	20,500	-	-
落札数量	834 m ³		469	2	164	0	0	64	77	57	-	1
出荷数量	9,808 m ³		3,678	979	1,308	379	594	376	915	398	-	1,181
落札数量	6,604 m ³		2,747	277	859	368	399	338	850	327	-	439
平均落札率	67%		75%	28%	66%	97%	67%	90%	93%	82%	-	37%
延べ参加者	194名		64	28	17	7	8	20	20	13	-	17

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外も含まれます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配											
保合い		○			○	○	○	○	○	○	○
弱気配	○		○	○							

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること